

2026 年 8 月 5 日

<報道関係各位>

株式会社ジェーシービー

二宮和也さん・川口春奈さん出演 JCB 新 CM 公開 スイカと花火に託した“言葉だけでは伝えきれない想い”を描く夏の物語 「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾が 8 月 5 日(水)より放映開始

株式会社ジェーシービー（本社:東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長:二重 孝好、以下:JCB）は、二宮和也さんと川口春奈さんが出演する新 CM「買いものって、メッセージだ。」シリーズの第二弾を 8 月 5 日（水）より全国で放映開始します。また YouTube の JCB 公式チャンネルでは、CM 撮影の様子を収録したメイキング・インタビュー映像も公開いたします。



JCB 新 CM「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾より

二宮さんと川口さんが出演する「買いものって、メッセージだ。」シリーズの第二弾では、何気ない夏の日常を舞台に、買いものに込められた言葉だけでは伝えきれない想いを描いています。日本中の買いものを見守ってきた JCB は、その一つひとつに込められた想いにも寄り添ってきました。本 CM では、前作に引き続き、大切な人へ想いを届けるお客様と、そのそばで日々の買いものを支え続ける JCB の姿を描いています。買いものにそれぞれの想いを込めるお二人の自然な表情にもぜひご注目ください。

CM概要

CM タイトル	: 買いものって、メッセージだ。「息子とスイカと」篇(30 秒、15 秒) 買いものって、メッセージだ。「友だちと花火と」篇(30 秒、15 秒)
放映開始日	: 2026 年 8 月 5 日(水)
YouTube JCB 公式チャンネル:	買いものって、メッセージだ。「息子とスイカと」篇: https://youtu.be/Ltzu71gVI7E 買いものって、メッセージだ。「友だちと花火と」篇: https://youtu.be/sIV-X4wDdGM メイキング映像: https://youtu.be/RrGqSuChWec インタビュー映像: https://youtu.be/iPqDRZXyhkw
CM サイト	: https://www.jcb.jp/special/message/ ※8 月 5 日(水)午前 6 時 30 分更新

別紙

「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾 全体ストーリー

日常によくある風景から始まる今回のストーリーは、買いものに込められた“言葉だけでは伝えきれない想い”を大切なひとに届けるまでの一連の出来事を描いています。二宮さんと川口さんの演じる役を通して、“買いもの”に宿るメッセージや想いのつながりを丁寧に表現します。後半では、JCB カードの形をしたフレームの中に想いを受け取った大切な人の表情が映し出され、確かに想いが伝わったことを感じていただける展開となっています。そしてラストには、「買いものって、メッセージだ。」という本作のキャッチコピーが添えられ、二宮さんと川口さんの柔らかくあたたかな表情で CM が締めくくられます。

買いものって、メッセージだ。「息子とスイカと」篇

スーパーの棚の前で立ち止まり、商品を見つめる二宮さん。「言いすぎてしまった」息子への想いを抱えながら、買いものに出かけます。帰宅後、スイカを切る二宮さん。一方、部屋で過ごしていた息子は、ドアの向こうから聞こえる物音に、慌てて宿題に向かい直します。「スイカ、買ってきたけど」と、少しだけ間を置いてかけられる、控えめなひと言。縁側で並んでスイカを食べる二人の間には、「おいしい?」「……うん」と会話が生まれます。そのやりとりをきっかけに、先ほどまでつい言いすぎてしまった後悔を抱えていた父親と、ぎこちなさを残していた息子の距離が少しずつ近づいていきます。二宮さんが本当に買ったかったものは、スイカそのものではなく、「仲直りのきっかけ」。…満面の笑みでスイカを手にした息子の姿を見て、父親の二宮さんは優しい表情を浮かべます。

買いものって、メッセージだ。「友だちと花火と」篇

「地元に戻ると、集まる友だちがいる。」帰省時のおでかけ帰り、夕方のコンビニで棚の前に立ち止まり、何かを見つけた川口さん。会計を終え、購入したビニール袋の中身をいとおしく見つめながら、車へと戻ります。後部座席で、切り出すタイミングをうかがいながら、「花火、買った。」とひと言。すると友人たちからは、「最高じゃん!」と笑顔の反応が返ってきます。川口さんが買ったものは、もう少しだけみんなで楽しむためのひと品でした。夕暮れの海辺で、3 人が手にした花火に灯がとまり、何気ない時間がキラキラと花火のように輝きはじめます。「みんなと過ごす時間を、もう少しだけ。」…花火を手にはしゃぐ友人たちの姿を見つめながら、川口さんの表情がやわらかくほどけていきます。

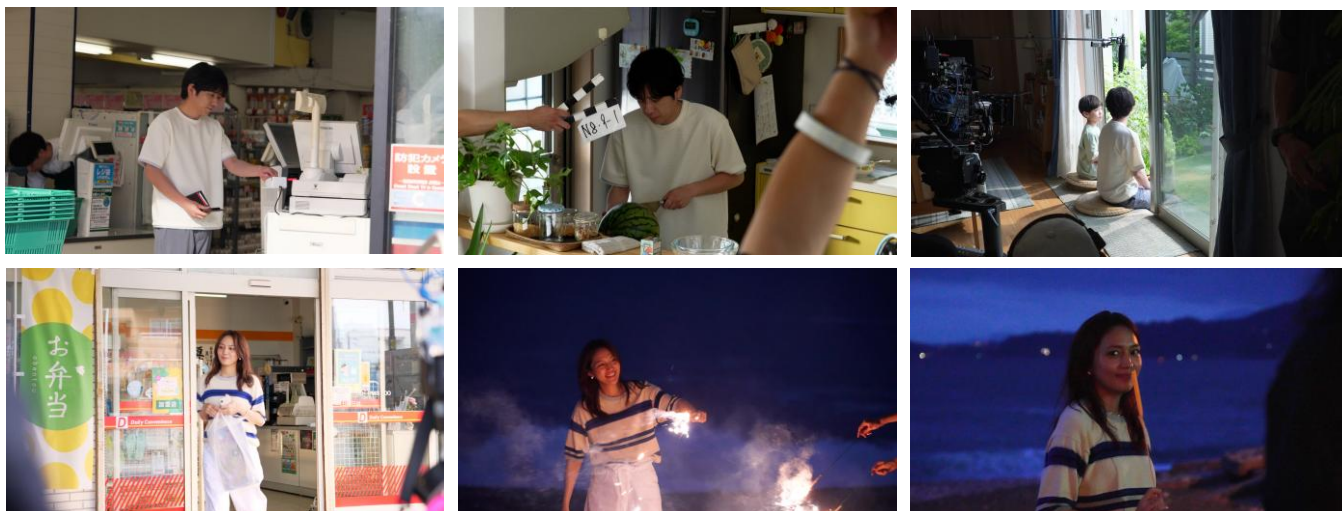


JCB 新 CM「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾より

撮影エピソード

新 CM「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾の撮影は、前回に引き続き二宮さんと川口さんの撮影がそれぞれ別々の場所で行われました。二宮さんは、スーパーでの撮影からスタート。JCB カードでの購入シーンでは、自然な所作で「想いを込めながら買う様子」を見事に演じられました。また、本作で父親役を演じる二宮さんは、スイカを切るシーンにも挑戦。見事一発 OK となり、繊細な演技っぷりにスタッフからも感嘆の声が聞こえました。

川口さんは花火を購入するコンビニの撮影からスタート。海へ向かう車内の撮影では、遠隔で監督の指示を受けながら撮影を実施。それを感じさせない自然な演技に注目です。また、夏に先駆けて行った花火では、友人役のおふたりと花火を楽しむ川口さんの姿も。海風にも負けず、笑顔で撮影を終えました。



JCB 新 CM「買いものって、メッセージだ。」シリーズ第二弾 撮影の様子

二宮和也さん、川口春奈さんへのインタビュー

～「川口さんに何か贈るなら？」という質問に 二宮さんがユーモアたっぷりに回答～

●新CM撮影を終えた感想は？

二宮さん： 久しぶりにロケにも出させていただいて、季節感も含めると夏になってきたなというのを感じましたし、CM 全体も夏っぽくなっているの、そういった部分を感じていただけたのかなと思います。

●息子役の谷夏向くんと共演はいかがでしたか？

二宮さん： 喧嘩をしたシーンがないので、どういった喧嘩をしたのか、宿題をやりなさいといったものの、どうやって言われたのか、どうして言ったのかというのを、谷君は経験していなかったの、多分、監督さんやスタッフの方と想定を作って、仲直りシーンに挑んでくれたのかなというのは、すごく感じました。すごく礼儀も正しかったので、最近の子供さんたちは本当に礼儀が通っているなと改めて思いましたね。

●演技で意識したポイントはありますか？

二宮さん： 僕の時代は基本的には怖い父親が多いので、割とそういった側面はあったような気がします。ただ、現代に落とし込んだ時に、スイカを買ったり、何かを用意したりとかが、今ならではののかな、と思いましたね。こういった世界線は一緒にすごく穏やかな気持ちになるといいますか、夏だけど、どこか涼やかと言いますか、理想的な家族なのかなと思いました。

●夏の買いものと言えば・・

二宮さん： 旅行とかじゃないですかね。旅行とか、そこで食べたご飯だったりとか、ものであったりとか、お土産であったりとかっていうものは割と夏の出来事としては大きいかもしれません。JCB さんが律儀に支払い明細を送ってきてくれるので、それを見て後で思い出すという二重の思い出があります。そこでまた明日も頑張るぞという気持ちになりますね。ものを見て、買って思い出すよりは、その場にまた行った時に、思い出せるものは、贅沢だなと思いますね。

●キャッチコピー「買いものって、メッセージだ。」に関する、想いを込めた買いものの思い出について

二宮さん： もうこの年になると奢られることはないので、ご飯は基本的にずっと奢っています。ご飯とかが多いかもしれないですね。(どんなメッセージを込めて・・)その人が大きくなったら下に奢ってもらいたいなことぐらいですかね。僕もそうしてきてもらったので、これが美味しいと思ったり、これを奢れるような人になりたいとか、これを日常的に後輩に振る舞えるようにになりたいという目標とともに、他の人、下の人たちにもそういうふうにしてもらいたいなど。そこまで強いメッセージとして送っているわけではないですが、そうなってくれたらいいなと思います。

●二宮さんから川口さんに贈りたいもの

二宮さん： 何年も一緒にやらせてもらっているので・・・そろそろ家を買ってあげてもいいかなと思っています(笑)。そろそろ川口さんも大人になってきたので、サンダルとかバッグはいっぱいお持ちだろう、と。プール付きのお家を買ってあげようかなと思っています、ドカンと。日々の疲れも癒されるでしょうし。(しかし、)お家をプレゼントしたいけど、できない可能性もあるので、その場合は、非日常的なところに一泊とかを贈りたいなと思っていますが、現状は、家です(笑)。

～ 川口さんから「少しでもケアしてほしい」と二宮さんへの想いがこめられた〇〇の話も ～**●撮影舞台の「コンビニ」に関する思い出について**

川口さん： 学生の時とか若い時とかも(コンビニに)行っていましたし、今回は花火を買うとか、そういう季節を感じるスポットでもあると思うので、懐かしくてよかったです。あと、ちょっとローカルなコンビニで撮影だったので、何か懐かしいなと思いながら、夏の情景を、風情を感じました。すごく気心知れた友達とそういうところに行くっていう演出にも懐かしみを感じましたね。

●夏の買いものと言えば・・

川口さん： 夏らしいガラスの器だとか、飲み物のカップとかです。ちょっとガラス細工みたいな、日常で使う食器や置物をたまに買います。コレクションじゃないですけど、夏を感じるアイテムかなと思います。

シンプルに可愛いし、それでお茶を飲むだけでテンションが上がったりしますね。もちろん人にギフトすることもあり、日常にほんのちょっと彩りが増えると思っています。

●新 CM でキーになってくる、花火の思い出

川口さん： ちっちゃい時も花火大会が実家の窓から見えたりとか、みんなで海辺で花火したりとかをしていました。全然ベタですが、そういったシチュエーションは今でもたまにあります。親戚のキッズ達と一緒にやったりとか、夏らしいなというのは、その時期にしかできないことでもあるので、すごくテンションが上がるイベントな気がします。

●キャッチコピー「買いものって、メッセージだ。」に関する、いただいたプレゼントの思い出について

川口さん： お風呂グッズとか、入浴剤、香りで癒されるものは日頃いただくことが多いので、なかなか自分では買わないけれど、貰うとすごく嬉しいものなので、入浴剤とかお風呂にまつわる自分をいたわるケアグッズを頂いた時はすごく嬉しいです。(どんなメッセージを込められて・・・?) やっぱり疲れてるだろうから、疲れとってとか、すごく汗かいてめっちゃいいよとか、そういう風に思ってくださいているっていうのがすごく伝わるのでありがたいなと思いながらいただいています。

●この夏、(川口さんから)二宮さんに贈りたいもの

川口さん： 本当に毎日お忙しいと思うので、少しでも体をケアしてほしいなと。やっぱり夏暑いですし、より休息の時間とか睡眠の時間等が潤うように寝具やリカバリーウェアが今思い浮かんでいます。なかなか自分で、パジャマなどは買わないのですが、いただくとうごく嬉しかったり、毎日着用するものなので、本当にお忙しい人ほどそういったものを考えますね。

●川口春奈さんの後に撮影だった「二宮和也さんへの贈り物について」二宮さんからのコメント

二宮さん： ありがたいです。暑くなってきたからということで、寝具であったり、寝るものであったりと。あつて困らないことないですからね。確かに、自分で買うとなると、今度でいいか、と先延ばしにしちゃいそうなものだったりもするので。人からもらうと、そこで一段落つくので、非常にいい贈り物だになって、いただきたいです。